

岡村よしき議会報告

地域福祉・青少年育成・学校

問 「心肺停止患者に、平成16年7月から誰でもAEDを使えようになつた。救急車到着までの間3～5分以内に除細動を行うことが、救命効果が高く生死を分けれる。市の設置状況を調査したが、市民部所管の施設に留まる。多くの市民・高齢者が多く集まる保健

センター等福祉施設、地域の避難所となる学校施設等へ計画的な設置が最重要である。縦割りを廃し全庁的に発注・契約すれば負担軽減になる。市民への周知、多くの人がAEDに接する機会をつくることが重要。市の取り組みは？。

答職員は、ほぼ全員が救命講習を受けAEDを使える。しかし指摘の通り設置が進まず市民部所管施設のみとなっており、すべての施設に必要と考える。日常管理を含め負担軽減を念頭に各部連携の上整備する。市民へAEDおよび救命講習について、広報さくら・HP等で周知を図る。」

問題であり、全庁的な取り組みが必要であると訴えて参りました。市長も青少年健全育成は市の最重要

される計画の意義は、深夜営業の商業者や企業等から意見聴取したか?」答「市最重要政策課題とし教委から市長部局へ移し全局的に取り組み策定した。今後ダイジェスト版等で広く周知する。商業者等の意見も聴取する。」

問 一近年 市民の間では
税金が高くなり反対に福
祉サービスは低下すると
の懸念が少なくない。自
立とか予防という綺麗事
を言いながら、負担だけ
を押し付けているという
厳しい意見もある。計画事
業の目的が市民の様々な生
活上の不安を払拭・解消
し、地域で安心・安全に
暮らすための施策だとす
るなら、その取り組みに
大いに期待する。この計
画の目的是? 同時策定の
活動計画とは? 計画策定
までのスケジュールは?」
答 「社会福祉を目的とす

域で活動に参加する仕組みをつくり、高齢者・障がい者・児童・母子家庭等が安心して暮らせる住み良い地域を目指し、自立した生活が出来るよう支援する。背景にある急速な少子高齢化や核家族化対策として、社会福祉協議会を核とし地域でお互いに助け合う仕組みづくりが目的。拠点として余裕教室・空店舗が活用し易いよう支援する。3月に計画案のパブリックコメントをとり、6月に策定し公表の予定。

より情報伝達の方法・手段やソフトの無償提供等コスト面も提案した。教育長は、これだけ携帯電話の普及している時代にあって、携帯電話のメール機能を使った情報伝達は、時代のニーズに合った手段である。18年度中にモデル校を選定して行うと答弁した。現状と今後の計画について伺う。併せて市や警察等関係機関との連携強化も伺う。」

答 「18年度9月から小学校3校・中学校1校の計4校で試験運用を開始した。同時にアンケート調

佐倉市議会
しきは安心・
に全力でがんばる
佐倉市議会
しきは安心・
に全力でがんばる

昭和二十年度 計画

の共認通

堺市地籍圖解説

めじき新聞

第15号
発行・編集
岡村よしき後援会
佐倉市中志津6-15-17
TEL 043(488)0229

学校の書類

岡崎よしひ
集解卷之三



佐倉市議会議員 国村ト

しきは市民の皆様の声に真剣に耳を傾け、安心・安全の住み良いまちづくりを全力でがんばっています

さまざまなご意見・ご要望を、身近なところからお寄せいただけますよう、お願い申し上げます。

圖書：人名、地名

問合せ先：連絡先

Fig. 11.1.8. 8. 1. 828. 1.

URL: <https://www.wikiwand.com/en/3D>